小豆崎町自治会　防災マップ

災害は自助・共助・公助

～この3つの行動が災害に対応する最も大切な基盤です～

避難の準備は大丈夫?

もしものときは、慌てず避難することが大切です。広報車・防災無線・サイレンなどを通じて市が出す避難情報には、状況によって違いがあります。

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
自主避難	・災害の危険が迫っていると自ら判断した場合の避難	・必要に応じて地域の公民館などに避難してください。 ・避難中の食事や生活必需品はご自分で用意してください。
避難準備情報	・避難するのに時間のかかる要配慮者は、避難を始めなければならない状況 ・人的被害が発生する可能性が高まっている状況	・高齢者、病人、障害者の人は、支援者とともに避難場所へ早めの避難を始めてください。 ・非常持ち出し袋を用意するなど、いつでも避難できるよう準備してください。
避難勧告	・通常の避難ができる人についても、避難を始めなければならない状況 ・人的被害が発生する可能性が高まっている状況	・避難場所へ速やかに避難を始めてください。
避難指示	・災害の前兆現象の発生や切迫した状況から人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況または人的被害が発生した状況	・避難中の人は確実に避難を完了してください。 ・いまだに避難していない人は、直ちに避難場所へ避難を始めてください。 ・避難の時間的な余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をしてください。

非常時に備える

○家の中では
- 家具を安全に配置する
- 家具の転倒を防ぐために金具などで固定し、ガラス戸に飛散フィルムを張る
- 非常持ち出し品・備蓄品を準備する

○家の外では
- 屋根（アンテナはしっかりと固定する。瓦のずれや割れ、ひびなどを点検し補修しておく）
- ブロック塀（ひび割れや破損箇所はないか）
- 外壁（亀裂や腐り、浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか）
- ベランダ（鉢植えや物干し竿は室内へ）
- 窓ガラス（ひび割れや窓枠のがたつきはないか）

土砂災害の危険信号

◎土砂災害の前兆として次のような兆候があれば要注意。避難を！

○がけ崩れ（急な斜面で突発的に起こる）
- がけからの水が濁る・小石が落ちてくる
- がけに亀裂が入る・地鳴りがする

○土石流（土砂などが水と一緒に流れ下るもの。速度が速く、大きな破壊力がある）

- 山鳴りがする
- 川が濁ったり流木が流れてくる
- 雨が降り続いているのに水位が下がる

○地滑り（一度に広範囲の地盤が動き出す）
- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水が濁る
- がけや斜面から水が噴き出す

◎避難情報など防災情報の入手先

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
  →よく聞き取れないときは　０１２０－４１９－００９
- エフエム諫早（周波数　７７．１ＭＨｚ）
- 諫早ケーブルテレビ（３ｓｕｎテレビ）テロップ
- 防災メール、防災ＦＡＸ（事前に登録が必要です）
- 緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
- 市ホームページ　・その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

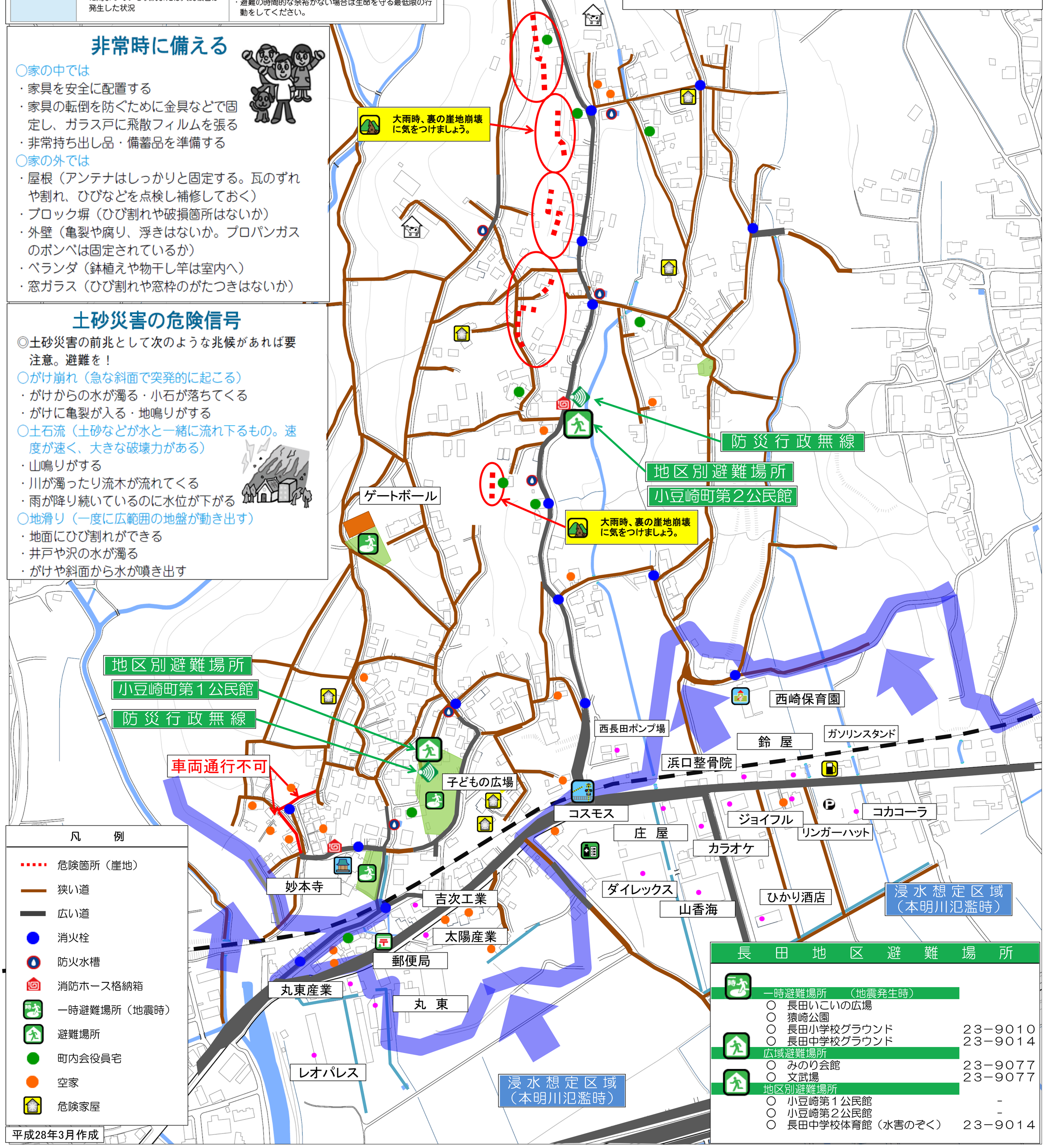
◎避難や避難時の連絡方法について確認しよう！

家族

- 家族防災会議
  役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。
- 避難場所・道順の確認
  避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。海辺などにいるときに、地震が起きた場合には、すぐに高いところに避難しましょう。

◎地域のことは地域で守ろう！

- 自主防災組織
  地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
- 防災訓練
  地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。



凡例

- 危険箇所（崖地）
- 狭い道
- 広い道
- 消火栓
- 防火水槽
- 消防ホース格納箱
- 一時避難場所（地震時）
- 避難場所
- 町内会役員宅
- 空家
- 危険家屋

長田地区避難場所

一時避難場所　（地震発生時）
- ○　長田いこいの広場
- ○　猿崎公園
- ○　長田小学校グラウンド　２３－９０１０
- ○　長田中学校グラウンド　２３－９０１４

広域避難場所
- ○　みのり会館　２３－９０７７
- ○　文武場　２３－９０７７

地区別避難場所
- ○　小豆崎第１公民館　－
- ○　小豆崎第２公民館　－
- ○　長田中学校体育館（水害のぞく）　２３－９０１４

平成28年3月作成